

地域活力創生部 SDGs 推進課

令和 7 年 3 月定例会 経済建設委員会

「第 3 次生駒市環境基本計画」の改定について

1 パブリックコメントについて

実施年月日：令和 6 年 12 月 19 日から令和 7 年 1 月 20 日

意見：提出者数 1 人（入力フォーム）

提出件数 延べ 5 件

2 パブリックコメント案以後の変更内容 [資料 1、資料 2 参照]

[資料 1] 「第 3 次生駒市環境基本計画（改定案）」に対する意見と生駒市環境審議会の考え方

[資料 2] 第 3 次生駒市環境基本計画

[資料 3] 第 3 次生駒市環境基本計画 概要版

No.	意見者	意見箇所	意見の概要	意見に対する生駒市環境審議会の考え方	修正箇所	修正内容
1	経済建設委員会	計画全般の、市の取組紹介およびコラム部分	市の取組紹介と一般的なコラムとが混在しているので、区別をつけるべきではないか。	ご意見のとおり、市の取組紹介と一般的なコラムの区別が分かるように修正します。	計画全般の、市の取組紹介およびコラム部分	市の取組紹介又はコラムであることを明記し、それぞれの背景色を青色又はオレンジ色に変更。
2	経済建設委員会	P3 第1章-2「計画の沿革」	環境モデル都市、SDGs未来都市、ゼロカーボンシティ宣言、脱炭素先行地域それぞれについて、市民が理解しやすいよう、もう少し説明を加えるべきではないか。	第2章-3「アンケート結果から見る現状・課題」においても示すように、ゼロカーボンシティ宣言や脱炭素先行地域については、市民の認知度が低いことが分かりました。 このことを踏まえ、ご意見のとおり、市民周知のためそれぞれについて説明を加えます。	P4～6	環境モデル都市、SDGs未来都市、ゼロカーボンシティ宣言、脱炭素先行地域について、市の取組紹介の形で説明を追加。
3	経済建設委員会	P8 第2章-1「世界や日本の状況」 (1) 地球が直面する「3つの危機」	図2-1について、図中の文字が小さくて見づらい。	ご意見のとおり、文字を大きく加工します。	P8 第2章-1 (1) ① 図2-1	図2-1の図中の文字を大きく加工。
4	経済建設委員会	P11 第2章-1「世界や日本の状況」 (3) 国の第六次環境基本計画の策定	「ウェルビーイング」という言葉の意味をもう少し分かりやすく説明するべきではないか。	ご意見を受け、修正します。	P11 第2章-1 (3)	ウェルビーイング（well-being）の注釈を修正 （修正前） 心身だけでなく、社会的な面も含め満たされた状態 （修正後） 個人の権利や自己実現が保証され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること

No.	意見者	意見箇所	意見の概要	意見に対する生駒市環境審議会の考え方	修正箇所	修正内容
5	経済建設委員会	P12 第2章-1「世界や日本の状況」 (4) 新型コロナウイルス感染症への対応とデジタル化の加速	デジタル技術の活用の重要性を理解してもらうためには、デジタル技術の活用について記載された取組の箇所を注釈で記載するなど、わかりやすくすべきではないか。	ご意見を受け、デジタル技術及びICTについて記載された箇所の記載を見直します。 なお、デジタル技術の重要性については、特にデジタル技術又はICTの活用について記載した取組項目等に限定されるものではなく、また、本計画中には特定のデジタル技術の概要や効果等を記載することを想定しておらず9頁の記載以外にデジタル技術に関するまとまった記載がないことから、注釈は記載しないこととします。	全体	ICT（情報通信技術）はデジタル技術の1つであるため、より広い技術活用の可能性を検討していくため、「ICT」の記載を「デジタル技術」に修正します。
					P58 第4章-目標3の2 市の取組	デジタル技術の活用は、特定の分野に限定されるものではなく、全ての取組項目において活用を検討することが重要であるため、「まちの脱炭素化」に限定してICTを活用することを記載した取組項目を削除します。 (削除) ICTの活用によるまちの脱炭素化：環境モデル都市推進に関する連携協定を活用しながら、ICTを活用したまちの脱炭素化を図ります。
					P63 第4章-目標4の1	目標4 コミュニティに関する施策の推進にあたって、デジタル技術の活用を明記します。 ※1文目の修正については、No15を参照 (修正前) 環境に関する出前講座や学習教材をとおしての環境教育を進めることで、持続可能な社会の実現に向けて考え、行動する人を増やします。 専門知識を持つ市民とも連携した環境教育・環境学習を推進することで、市民自身が自分の持つ特技を活かし、人材を育む環境をつくりま す。 (修正後) 生駒市が推進する環境まちづくりへの理解を深め、環境に関する出前講座や学習教材をとおしての環境教育を進めることで、持続可能な社会の実現に向けて考え、行動する人を増やします。 専門知識を持つ市民との連携や、デジタル技術を活用した環境教育・環境学習を推進することで、市民自身が自分の持つ特技を活かし、人材を育む環境をつくりま す。
					P64 第4章-目標4の2	情報発信におけるデジタル技術の活用を明記します。 (修正前) 既に環境活動に取り組んでいる市民に加え、より幅広い層が関心を持つような情報発信を行い、多世代が楽しみながら気軽に環境の取組に参加できる機会を創出します。 (修正後) 既に環境活動に取り組んでいる市民に加え、より幅広い層が関心を持つよう、デジタル技術も活用した情報発信等を行い、多世代が楽しみながら気軽に環境の取組に参加できる機会を創出します。
6	経済建設委員会	P14 第2章-2「統計から見る市の現状・課題」 (2) 産業	図2-9について、年度が等間隔でないことが分かりにくいので、工夫するべきではないか。	出典元の経済センサスは定期的を実施されていないため、掲載しているデータの年度の間隔が不規則になっています。 ご意見のとおり、等間隔でないことが分かるようにグラフを修正します。	P14 第2章-2 (2) 図2-9	データ間の間隔が一定でない場合は、年度間の値の間隔を広くし、等間隔でないことを示します。
7	パブコメ	P14 第2章-2「統計から見る市の現状・課題」 (2)産業	図2-10について、棒グラフの項目名が斜め表記になっているのが見づらい。	ご意見を受け、縦書き表記に修正します。	P14 第2章-2 (2) 図2-10	図2-10について、項目名を縦書きに変更。

No.	意見者	意見箇所	意見の概要	意見に対する生駒市環境審議会の考え方	修正箇所	修正内容
8	経済建設委員会	P15 第2章-2「統計から見る市の現状・課題」 (3) 自然環境 ア 公園面積	山林の面積の推移の掲載を検討してほしい。	ご意見を受け、平成30年～令和5年の市町村別森林面積の推移を確認したところ、ほぼ増減なく推移しますので、令和5年時点の森林面積を追記します。 また、見出しを「ア 公園面積」としていましたが、森林面積の記述を追記することに伴い、本文がより自然環境全般についての記述となるため、項目名を変更します。	P15 第2章-2 (3) ア	令和5年時点の森林面積を追記。 (修正前) ア 公園面積 本市の市街化区域は……、里山の自然が残っています。 (修正後) イ 自然環境の概況 本市の市街化区域は……、里山の自然が残っており、市内の森林面積は令和5(2023)年4月1日時点で1,882haです。
9	環境審議会	P18 第2章-2「統計から見る市の現状・課題」 (4) 生活環境 ウ 食品ロス削減の取組	—	食品ロス削減のためにフードドライブの拡大は大切ですが、まずは各家庭で unnecessary な物を購入しない、使い切る、食べ切るなど、そもそも食品を余らせないことが大切であることを追記します。	P18 第2章-2 (4) ウ	ウ 食品ロス削減の取組の1文目を修正。 (修正前) 賞味期限切れなどの理由で「まだ食べることができるが捨てられてしまう食品（食品ロス）」の削減を目指し、家庭等で使い切れない食品を持ち寄り、それを必要としている福祉施設や団体に寄付する「フードドライブ」を実施しています。 (修正後) 「まだ食べることができるが捨てられてしまう食品（食品ロス）」を削減するためには、各家庭で「食べられる量を購入する」等の食品を余らせない意識を醸成することが大切ですが、賞味期限切れなどの理由で使い切れなくなる食品を無駄にしないために、家庭で余ってしまった食品を持ち寄り、それを必要としている福祉施設や団体に寄付する「フードドライブ」を実施しています。
10	事務局	P20 第2章-2「統計から見る市の現状・課題」 (5) 地球環境 イ 温室効果ガス排出量	—	一人当たりCO ₂ 排出量について、誤りを修正するとともに、小数点第2位までの記載に統一します。	P20 第2章-2 (5) イ 図2-19 P41 第3章-3 代表指標 1人あたりCO ₂ 排出量	次のとおり、修正します。排出量に誤りがあった年度は、2015年度、2018年度、2021年度及び2022年度です。 2013：2.6 → 2.65 2014：2.5 → 2.46 2015：2.4 → 2.38 2016：2.5 → 2.50 2017：2.4 → 2.43 2018：2.4 → 1.98 2019：2.3 → 2.34 2020：2.3 → 2.29 2021：2.3 → 2.33 2022：2.3 → 2.30 あわせて、P41の1人あたりCO ₂ 排出量の現状値を2.27t-CO ₂ から2.30t-CO ₂ に修正します。
11	経済建設委員会	P23 第2章-2「統計から見る市の現状・課題」 (5) 地球環境 エ 公共交通の利用	図2-22について、光陽台線の数値が見つからないので工夫いただきたい。	ご意見のとおり、文字の色を修正します。	P23 第2章-2 (5) エ 図2-22	光陽台線の数値を、白抜き文字に変更。
12	経済建設委員会	P25～32 第2章-3「アンケート結果から見る現状・課題」	各グラフや表について、小数点第1位のものと整数のものが混在しているので、統一いただきたい。	ご意見のとおり、%表記の数値を整数に統一します。	P25～32	%表記の数値について、すべて整数に統一。
13	経済建設委員会	P25～32 第2章-3「アンケート結果から見る現状・課題」	各設問について、回答数を示していただきたい。	ご意見のとおり、回答数を追加します。	P25～32	「N=〇〇」の形で回答母数を追加。
14	パブコメ	P26 第2章-3「アンケート結果から見る現状・課題」 (2) 市民アンケート	「ゼロカーボンシティ宣言」、「脱炭素先行地域」の認知度について、認知度が低かったことを強調すべきではないか。	ご意見のとおり、「知らなかった」の割合の表記に加え、認知度が低いことを示すよう修正します。	P26 第2章-3 (2) イ	イ 「ゼロカーボンシティ宣言」、「脱炭素先行地域」の認知度の1文目を修正。 (修正前) 回答者の約6割が「ゼロカーボンシティ宣言」を行っていること、約8割が「脱炭素先行地域」であることを知りませんでした。 (修正後) 回答者の約6割が「ゼロカーボンシティ宣言」を行っていること、約8割が「脱炭素先行地域」であることを知らず、認知度が低いことが明らかになりました。

No.	意見者	意見箇所	意見の概要	意見に対する生駒市環境審議会の考え方	修正箇所	修正内容
15	経済建設委員会	P26 第2章-3「アンケート結果から見る現状・課題」 (2) 市民アンケート	生駒市が環境モデル都市に選定されていること、ゼロカーボンシティ宣言を行ったこと、脱炭素先行地域に選定されたこと等への認知度が低い。生駒市がどういうまちかということをきちんと理解した上で施策を推進するべきであり、認知度向上のための取組を検討してほしい。	ご意見を受け、目標4コミュニティに関する施策の推進にあたって、生駒市が推進する環境まちづくりへの理解の促進を図る旨の記載を追加します。	P63 第4章-目標4の1	目標4 コミュニティに関する施策の推進にあたって、生駒市が推進する環境まちづくりへの理解の促進を図る旨の記載を追加します。 ※2文目の修正については、No5を参照 (修正前) 環境に関する出前講座や学習教材をとおしての環境教育を進めることで、持続可能な社会の実現に向けて考え、行動する人を増やします。 専門知識を持つ市民とも連携した環境教育・環境学習を推進することで、市民自身が自分の持つ特技を活かし、人材を育む環境をつくりま す。 (修正後) 生駒市が推進する環境まちづくりへの理解を深め、環境に関する出前講座や学習教材をとおしての環境教育を進めることで、持続可能な社会の実現に向けて考え、行動する人を増やします。 専門知識を持つ市民との連携や、デジタル技術を活用した環境教育・環境学習を推進することで、市民自身が自分の持つ特技を活かし、人材を育む環境をつくりま す。
16	経済建設委員会	P28～29 第2章-3「アンケート結果から見る現状・課題」-オ	市内環境に関する満足度と重要度に係るポートフォリオ分析に関して、「満足度が低く、重要度が高い」ものだけを取り上げているが、環境施策を推進する自治体としては、市民にとって重要度が低い項目に対する環境啓発のような取組にもふれるべきではないか。	ご意見のとおり、ポートフォリオ分析結果を踏まえ、各カテゴリーのそれぞれについて記述するよう修正します。	P28～29 第2章-3 (2) オ	「満足度が低く、重要度が高い」項目だけを特に取り上げるのではなく、「満足度が高く、重要度が高い」項目は満足度を維持し、「満足度が低く、重要度が低い」項目は重要性を周知するための取組が求められる旨を追記。
17	パブコメ	P31 第2章-3「アンケート結果から見る現状・課題」 (3) 事業者アンケート	イ 環境対策を進める上での課題について、図2-30の下部に掲載している文章は、他の項目との整合性が取れていないのではないか。	同じ記載が27頁本文中にあり、編集時の削除漏れでしたので、図2-30の下部の文章は削除します。	P31 第2章-3 (3) イ	図2-30の下部の文章を削除。
18	経済建設委員会	P33～36 第3章-3「代表指標とモニター指標	モニター指標の実績値が2022年度か2023年度か正確に分かりやすく表記してほしい。	ご意見のとおり、モニター指標の実績値は、2023年度以外の年度の値が混在しているため、表中の各値ごとに年度表記します。	P33～36	モニター指標の表について、表中の各値ごとに年度を表記。
19	経済建設委員会	P33～36 第2章-4「第3次生駒市環境基本計画の上半期の取組状況」	4つの目標ごとに、副題も記載したほうがわかりやすいのではないか。	ご意見のとおり、4つの目標ごとに、副題を追記します。	P33～36	4つの目標ごとに、副題を追記。
20	経済建設委員会	P33～36 第2章-4「第3次生駒市環境基本計画の上半期の取組状況」	各モニター指標について、傾向が分かるように、過去の数値も記載すべきではないか。	ご意見のとおり、過去の数値を追加します。	P33～36	各モニター指標について、過去の数値を追記。
21	経済建設委員会	P36 第2章-4「第3次生駒市環境基本計画の上半期の取組状況」	「民間主導による事業の仕組みづくり」とあるが、いこまSDGsアクションネットワークがそのためのしくみであり、仕組みづくりは既にできているのではないが。新たなしくみをつくることを想定しているのか。	新たなしくみづくりを想定しているのではなく、いこまSDGsアクションネットワークを、民間主導による継続的な取組の場として定着させることを想定したものですので、「仕組みづくり」という文言を修正します。	P36 第2章-4 (1) 目標4 ③	既存のいこまSDGsアクションネットワークの活用を想定しているため、「仕組みづくり」という記載を削除した文言に修正。 (修正前) ・環境教育・環境学習をより効果的に実施するためにも、民間主導による事業が継続的な取組として定着するための仕組みづくりに取り組みま す。 (修正後) ・環境教育・環境学習をより効果的に実施するためにも、民間主導による継続的な取組の定着を図ります。

No.	意見者	意見箇所	意見の概要	意見に対する生駒市環境審議会の考え方	修正箇所	修正内容
22	経済建設委員会	P38 第3章-2「望ましい環境像を実現するための4つの目標」	図3-1について、見づらいので背景色の青枠は消してはどうか。	ご意見のとおり、修正します。	P38 第3章-2 図3-1	図3-1について、背景色を白に修正。
23	パブコメ	P40 第3章-3「代表指標とモニター指標」	代表指標の「ごみ総排出量」について、家庭系ごみと事業系ごみでそれぞれ目標値を掲載したほうが、課題を見つけやすいのではないか。	環境基本計画は、本市の関連計画等と連携・整合を図りながら策定する必要があるため、関連計画に基づく施策・指標のうち、主要又は特徴的なものを計画中に記載しているところであり、「生駒市一般廃棄物（ごみ）処理計画」に基づくごみ処理に関する指標については、「ごみ総排出量」を記載することとしています。	原案のとおりとします	—
24	経済建設委員会	P43～66 第4章-2「具体的な取組」	進捗管理をするためにも、取組内容を文章で記述するだけでなく、数値目標を入れてはどうか。	個別の取組項目については、状況に応じて取組内容を柔軟に見直すことも必要であることから、個別の目標設定を計画中に記載するのではなく、年度毎に次年度の目標を明らかにしながら進捗管理を行っていくこととします。	原案のとおりとします	—
25	経済建設委員会	P43 第4章-目標1-1	「災害に強い森林の育成」について、記述を追加してはどうか。	リーディングプロジェクト「(1)自然環境」の「想定される効果」において「適切な森林・竹林の整備により土砂災害等の自然災害を防止する。」と記述しているとおり、日々の適切な森林整備が、結果的に災害に強い森林の育成につながると考えています。	原案のとおりとします	—
26	経済建設委員会	P48 第4章-目標1の3	まちなかの緑化の推進について、花のまちづくりセンターふろーらむの取組についても記述してはどうか。	ご意見を受け、花のまちづくりセンターふろーらむについての記述を追加した文章に修正します。 また、まちなかの緑化推進について、市民や事業者の方々には、市への協力という形ではなく、より主体的に取り組んでいただきたいため、「市民の取組」「事業者の取組」の記述を修正します。	P48 第4章-目標1の3 市の取組	市の取組のうち、「まちなかの緑化の推進」に関する取組内容を修正。 （修正前） ・団体や市民と協働し、花と緑のまちづくりを推進することで地域の魅力を高めます。 （修正後） ・市民や市民団体と連携し花のまちづくりセンターの魅力を充実させ活性化を図るとともに、団体等の緑化活動を支援し花と緑のまちづくりを推進することで地域の魅力を高めます。 市民の取組内容を修正。 （修正前） ・緑化や景観保全に関する活動に積極的に協力します。 （修正後） ・緑化や景観保全に関する活動に積極的に取り組みます。 事業者の取組内容を修正。 （修正前） ・緑化や景観保全に関する活動に積極的に協力します。 （修正後） ・緑化や景観保全に関する活動に積極的に取り組みます。
27	経済建設委員会	P48 第4章-目標1の3	まちなかの緑化の推進について、街路樹の維持管理について記載することを検討してはどうか。	ご意見を受け、街路樹の適正管理等についての取組を追加します。	P48 第4章-目標1の3 市の取組	まちなかの緑化の推進の取組内容として、街路樹の適正管理等についての取組を追加。 （追加） ・安全・安心で快適なまちを創出するため、公園・緑地の樹木や街路樹の計画的かつ適正な維持管理に努めます。
28	環境審議会	P58 第4章-目標3の2	—	公共施設の省エネルギーの推進の取組内容で「コージェネレーション導入」を検討することとしているが、計画期間内で導入予定がないことから、記載を削除します。	P58 第4章-目標3の2 市の取組	市の取組のうち「公共施設の省エネルギーの推進」の取組内容を修正。 （修正前） 公共施設を改修する際には、・・・努めるとともに、コージェネレーション導入を検討します。 （修正後） 公共施設を改修する際には、・・・努めます。

No.	意見者	意見箇所	意見の概要	意見に対する生駒市環境審議会の考え方	修正箇所	修正内容
29	経済建設委員会	P58 第4章-目標3の2	環境にやさしい交通への転換について、自治体がEVカーシェアリング事業を実施する必要があるのか。限定的な記載にするのではなく、別の形で普及啓発を図ることも含めた記載にしてはどうか。	EVカーシェアリング事業については、EV車の積極的な普及促進に向けた事業の一例として記載し、啓発事業も含め、車両のEV化に向けた施策に広く取り組むこととする記載に修正します。	P58 第4章-目標3の2 市の取組	市の取組のうち「環境にやさしい交通への転換」の取組内容を修正。 （修正前） 公用車に EV 車を導入し、使用時間外は市民や事業者、観光客等に貸し出す EV カーシェアリング事業を展開します。 （修正後） EVカーシェアリング事業など、EV車の利用促進に向けた事業検討を行うとともに、EV車等の導入に関する情報提供等により、車両のEV化を図ります。
30	経済建設委員会	P58～59 第4章-目標3の2	市の取組内容として「デコ活」の記述がある頁と「デコ活」のコラムの頁とが離れているので、注釈を入れる等のわかりやすくする工夫をしてほしい。	ご意見を受け、「デコ活」の記述がある市の取組の記載の下部に、次頁を参照するよう注釈を追加します。加えて、「デコ活」のコラムを、各主体の取組よりも前に掲載するよう修正します。	P58～59	「デコ活」の記述がある市の取組の記載の下部に、次頁を参照するよう注釈を追加。 「デコ活」のコラムを、各主体の取組よりも前に掲載するよう修正。
31	パブコメ	P64 第4章-目標4の2	「市民が楽しみながら環境との関わり合いを持つことができる入り口づくりを進める」という旨の記述があるが、「場づくり」としたほうが、積極的に市民の参加・参画を促すことができるのではないか。	ご意見のとおり、修正します。	P64 第4章-目標4の2 市の取組	市の取組のうち「市民と環境との関わり合いの促進」の取組内容を修正。 （修正前） ・「健康」「子育て」「安心・安全」など、環境分野以外の取組とも連携・協力しながら、市民が楽しみながら環境との関わり合いを持つことができる入り口づくりを進めます。 （修正後） ・「健康」「子育て」「安心・安全」など、環境分野以外の取組とも連携・協力しながら、市民が楽しみながら環境との関わり合いを持つことができる場づくりを進めます。
32	経済建設委員会	P67 第5章-1「リーディングプロジェクトの考え方」	リーディングプロジェクトと福祉や産業等の他分野の取組との関係を表す図中で、リーディングプロジェクトごとに関連する分野が限定されているように記載されているが、リーディングプロジェクトはそれぞれが他の全ての分野につながっているのではないか。	ご意見のとおり、リーディングプロジェクトは、それぞれが他の全ての分野と関連するものであることを示すよう、図を修正します。	P67 第5章-1	リーディングプロジェクトについて、それぞれが他の全ての分野と関連することを示すよう、図を修正。
33	経済建設委員会	P68～76 第5章-2「リーディングプロジェクト」	リーディングプロジェクトの進行管理について、KPIを設定するか、参照すべきKPIが記載されている箇所がわかるようにしていただきたい。	ご意見を受け、各リーディングプロジェクトに、第3章で掲げた代表指標およびモニター指標のうち、関連する指標を掲載するよう修正します。	P68～76	各リーディングプロジェクトに、第3章で掲げた代表指標およびモニター指標のうち関連する指標を掲載。
34	経済建設委員会	P71～72 第5章-2「リーディングプロジェクト」 (2) 生活環境	食品ロス削減をどのように働きかけていくのかについて、もう少し説明を加えるべきではないか。	食品ロス削減については、食育や環境教育を通じての普及啓発も効果的であると考えています。ご意見を受け、環境教育や食育の分野でも働きかけを行うことを示すよう修正します。	P71 第5章-2 (1) 背景・目的	（修正前） 本市においても、家庭系食品ロス量削減に向けては市民等への啓発を、事業系食品ロス量削減に向けては、食品の生産・製造・販売等に係る事業者と消費者をつなぐ取組を行うことで、地域福祉の向上にもつながる食品ロス対策を推進します。 （修正後） 本市においても、家庭系食品ロス量削減に向けては市民等への啓発を、事業系食品ロス量削減に向けては、食品の生産・製造・販売等に係る事業者と消費者をつなぐ取組を行うとともに、食育や食品ロス対策に関する環境教育の充実等により、地域福祉の向上にもつながる食品ロス対策を推進します。
35	経済建設委員会	P76 第5章-2「リーディングプロジェクト」 (4) コミュニティ	いこまSDGsアクションネットワークのコラムの図中の文字が小さく見づらい。	ご意見を受け、文字を大きく加工します。	P76 第5章-2 (4) 市の取組紹介	図中の文字を大きく加工。